



にじいろ 第15号

発行：公立宍粟総合病院 〒671-2576 兵庫県宍粟市山崎町鹿沢 93 番地
編集：広報委員会 TEL 0790-62-2410 FAX 0790-62-0676 公式サイト <http://www.shiso-hp.jp>

平成 30 年 4 月 1 日より新院長に佐竹信祐が就任

公立宍粟総合病院院長就任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

日ごろから当院に対し、市民の皆様からはあたたかい御支援、御指導をいただきありがとうございます。

私、生まれ育ちは氷上郡（現丹波市）です。神戸大学を卒業後、昭和 59 年から外科研修医として当時の宍粟郡民病院で 1 年間勤務いたしました。当時は本当に小さな病院で、常勤医師も数人でした。そこで山崎良定前院長や山中医院の山中陽一先生からマンツーマンの指導を受けました。そして平成 16 年には立派な総合病院となった公立宍粟総合病院に外科部長として赴任し、副院長を経て今年 4 月 1 日から院長に就任いたしました。宍粟は故郷丹波と同じぐらい思い出深く私の原点ともいえる地域です。



昨今、日本の地域医療は危機に直面しています。当院も例外ではなく、医師不足に悩まされてきましたが、今年度から内科、産婦人科、泌尿器科において新たな常勤医師が着任しました。今後の地域医療に欠かせない地域包括ケアにおける急性期病院としての役割と責任を十分に理解し、地域の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、あらゆる分野の方々と連携していきたいと考えております。宍粟市唯一の急性期病院として地域医療を守るため、皆さまの期待に応えられるよう一層の努力をしていきます。

職員とともに全身全霊で取り組んでまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

新しく勤務されている医師（順不同）

- 【内 科】八木洋輔（やぎようすけ）先生・八木優子（やぎゆうこ）先生・木村敬一（きむらけいいち）先生
鎌田百香（かまだももか）先生
- 【外 科】高井亮（たかいりょう）先生・多田羅敬（たたらたかし）先生
- 【産婦人科】土橋裕允（つちはしひろみつ）先生
- 【泌尿器科】広田竜一（ひろたりゅういち）先生
- 【研 修 医】樫木孝次（かしきこうじ）先生・直聖一郎（なおせいいちろう）先生

（もくじ）

P.1 院長あいさつ P.2 歓迎花束贈呈 結石破壊 P.3 認定看護師紹介 P.4 迷わず使おう A E D

宍粟の地域医療をサポートする会から新任医師へ歓迎花束贈呈

公立宍粟総合病院を応援してくださっている、「宍粟の地域医療をサポートする会」から新任の医師に歓迎の意を込めて花束贈呈していただきました(^o^)



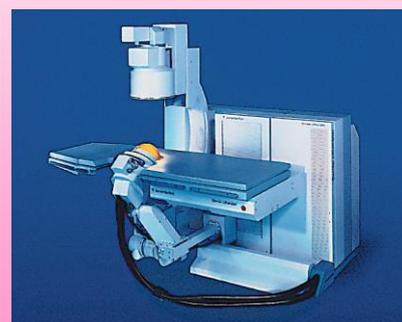
体外衝撃波結石破碎術の再開

? 尿路結石とは?

腎臓から尿管・膀胱・尿道に至る尿の通り路に結石ができる病気で、食生活の欧米化にともない増加しています。結石が尿とともにスムーズに流れ、自然に排出されれば問題ありませんが、腎臓や尿管にとどまると、腰やお腹の激しい痛み・血尿などを起こすことがあります。放っておくと腎臓の機能が低下する場合があります。

平成 30 年 4 月から泌尿器科の常勤医が 2 名となり、体外衝撃波結石破碎術が再開しました。

体外衝撃波結石破碎術は、尿路結石に対して、体の外から音波の一種である衝撃波を結石に向けて照射し、筋肉や他の臓器を傷つけることなく、結石のみを砂状に細かく破碎する手術です。砂状に破碎された結石は尿と共に自然に体外に排出され、副作用や後遺症も少なく、現在では結石療法の第一選択肢となっています。



体外衝撃波結石破碎装置

感染管理認定看護師は以下のような感染対策に関する仕事をしています。

- ☆院内の全職員からの感染対策に関わる事柄についての相談対応
- ☆院内感染対策の計画・立案・実施・評価・教育や指導
- ☆地域の病院・高齢者介護施設・保健所での感染対策講演
- ☆手洗い方法の指導や手指消毒のタイミングの指導 などを行なっています。



感染管理認定看護師
城内 美紀

感染対策で一番重要なこと…誰でもできる「手洗いと手指消毒」です!!



INFECTION CONTROL 24 巻 4 号出典

左側の写真はきれいに洗わなかった手ときれいに洗った手洗いのばい菌の培養結果です。正しい手洗いをマスターすれば、ばい菌を減らすことができます。ノロやインフルエンザなど流行感染症にも効果があります。ぜひ夏のうちから正しい手洗いの方法をマスターしましょう。

正しい流水と石けんでの手洗い手順

ノロウイルス感染予防に効果的です!

- ①まず手指を流水で濡らす。
- ②石けん液を適量取り出す。
- ③手の平と手の平を擦り、よく泡立てる。
- ④手の甲をもう片方の手の平で擦る(両手)。
- ⑤指を組んで両手の指の間を擦る。
- ⑥親指を片方の手で包み、擦る(両手)。
- ⑦指先でもう片方の手の平を擦る(両手)。
- ⑧両手首まで丁寧に擦る。
- ⑨流水でよくすすぐ。
- ⑩ペーパーで水分をしっかりと拭き取る。

INFECTION CONTROL 26 巻 4 号より出典

正しい擦式アルコール製剤での消毒

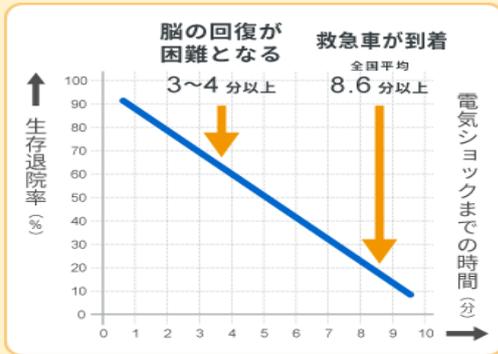
インフルエンザ等感染予防に効果的です!

- ①消毒薬をノズルを下までしっかり押し、手の平に取る。
- ②両手の指先に消毒液を浸す。
- ③手の平によく擦り込む。
- ④手の甲に擦り込む(両手)。
- ⑤指の間にも擦り込む。
- ⑥親指にも擦り込む(両手)。
- ⑦手首にも擦り込む(両手)。
- ⑧乾燥するまでよく擦り込む。

INFECTION CONTROL 26 巻 4 号より出典

AED（自動体外式除細動器）は、突然の致死性不整脈が起こった時に『電気ショック』を与えて心臓を元通りの動きに戻すための緊急治療機器です。誰でも使用でき病院や診療所はもちろんのこと空港・駅・学校・公共施設など、人が多く集まるところを中心に設置されています。電気ショックが必要かどうかはAEDが判断します。躊躇せず、一刻も早い救命措置を心掛けましょう！

このマークは
AED設置場所を
示します



心肺停止が起こってから心拍が回復するまでの時間が1分経過するごとに、生存率は7~10%低下するといわれています。心臓が血液を送らなくなり、3~4分以上経つと脳に大きなダメージを受けることとなります。できるだけ早く119番通報を行い、早くAEDを使った心肺蘇生を行うことが大切な命を救うことにつながります。

AEDを使った心肺蘇生（一般手順）

1 反応を確認

- 倒れている人の耳元で「大丈夫ですか」と大きな声で呼びかけ、肩を軽く叩き、反応があるか確認する。



2 助けを呼ぶ

- 反応がなければ、助けを呼びます。協力者が来たら、「あなたは119番に通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と要請します。

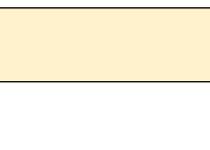
3 呼吸を確認

- 倒れている人のあごを上にあげ気道を確保し、頬を倒れている人の口・鼻に近づけ呼吸を確認します。



4 胸骨圧迫（心臓マッサージ）

- 胸の真ん中を重ねた両手で「強く、速く、絶え間なく」圧迫します。1分間に100回の速いテンポで30回連続して絶え間なく圧迫します。



5 AEDの到着

- AEDは音声ガイダンスに従って使用します。①電源を入れる ②電極パッドを貼る ③誰も傷病者に触れていないか確認しボタンを押す ④胸骨圧迫を再開する



※救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう。